

平成 29 年度 公の施設の指定管理者における業務状況評価

施設名	七飯町精神障害者通所授産施設「ぼぼろ館」	所管課	福祉課
-----	----------------------	-----	-----

1 施設の概要

指定管理者名	社会福祉法人 ななえ福祉会
指 定 期 間	平成 27 年 4 月 1 日 ～ 平成 30 年 3 月 31 日
施 設 所 在 地	七飯町鳴川 5 丁目 3 4 8 番地 3

2 施設の利用状況

① 年間利用者数	4, 287 人
② 利用者の意見等の 反映	○利用者アンケート等の実施状況（時期・方法・回答数・調査結果等） 通所者の家族で構成する家族会との交流会において、通所者及び家族の意見要望の聴取と調整を行っている。
	○利用者からの苦情・要望とその対応 苦情受付担当者及び苦情解決責任者を選任し、常時対応できる体制にしている。なお、平成 29 年度における苦情の受け付けは 0 件であった。
③ その他特記事項	事業所自体の認知度を高めるため、例年同様「ぼぼろ祭」を開催し、地域の方々や関係機関、一般の町民の方、多数来場いただいた。 また、地域の病院、福祉施設及び商工会等のイベントに積極的に参加し、施設の認知度を高める活動も行っている。

3 平成29年度業務評価

項目	評価	状況説明
① 適切な管理運営の確保	㊤ B C D	基本協定書及び仕様書に基づき、適正な職員配置、施設設備の維持管理が行われている。
② 利用者サービス等の維持向上	㊤ B C D	通所者の作業能力に合った作業方法、作業手段の開発について職員間で協議し、能力に応じた作業の導入に努めている。また、平成29年10月より町内事業者の水耕栽培にて、職員引率付就労体験を開始し、利用者の工賃向上につながっている。
③ 利用実績	㊤ B C D	利用者実数は、横ばいであるが障がいの特性を勘案すれば、十分努力していると判断できる。 B型事業所においては、利用者の思いや困っていることを話し合う、自助会や共助会を設けることにより、継続的な事業所の利用に繋がっていると考えられる。
④ 現地調査	㊤ B C D	随時調査を実施しており、管理状況の把握を行っている。
総合評価	㊤ B C D	自主事業の充実により、利用者の作業効率の向上を目指すとともに、作業環境の整備等の安全管理がなされている。

【評価の目安】 A：仕様書及び事業計画書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
 B：概ね仕様書及び事業計画書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
 C：仕様書及び事業計画書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力及び改善が必要なもの
 D：管理運営が適正に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの